



◇平成23年度熊毛地区高校総合文化祭

2月1日(水)、本校、種子島高校、屋久島高校の文化部の生徒76名が参加し、熊毛地区総合文化祭が種子島コリーナで開催されました。本校1・2年生も参加し、文化祭を盛り上げました。



展示部門では、3校の美術、書道、写真の作品が展示されました。本校の美術選択者による自画像や、種子島高校写真部の身近な場所を撮った作品は、来場者の目を引いていたようです。



ステージ部門は、3校の吹奏楽部の演奏や「上を向いて歩こう」を生徒全員で合唱するなど趣向を凝らしたステージになりました。学校を超えた生徒同士の交流を深め、大きな刺激を受け、非常に有意義な一日となりました。

生徒同士の交流を深め、大きな刺激を受け、非常に有意義な一日となりました。

◇3年生による進路体験発表会

2月6日(月)、1・2年生合同LHRの時間に、3年生による進路体験発表会が行われました。これは、進学・就職内定者8名が、それぞれの体験を発表するものです。1・2年生は熱心にメモを取るなど、進路実現に向けて考える姿が見られました。これから勝負です。“時は金なり”，一日一日を大切に頑張っていきましょう。



【進学内定者の発表より】

- * 目標に向けて早めに始動することが大切です。「志望校に絶対合格するという強い気持ち」を胸に頑張してほしい。
- * 「自分が何を学びに行きたいのか」を真剣に追求できたことがよかった。

【就職内定者の発表より】

- * 空き時間を利用し、就職問題をコツコツと解いていった。早めに進路ノートを作成し、意識付けができたことがよかった。

◇23.2キロ踏破した郷土遠行

2月10日(金)、種子島宇宙センターから本校までの23.2キロの郷土遠行を行いました。今年も保護者や沿道の皆さんの応援に勇気づけられながら、最後まで走りきってゴールした生徒や、友達と自然を楽しみながらゴールした生徒などそれぞれの目標を設定し踏破しました。



男子の1位は、2年の石堂至雲君と川崎亮直君で、



記録は1時間44分でした。女子の1位は、2年の木場穂奈美さんと1年の村山莉帆さんで、記録は2時間1分でした。ご協力してくださった保護者や地域の皆様方、ありがとうございました。

◇宇宙科学関連教育講演

2月27日(月)、県立博物館より前田利久学芸主事を講師に招き、宇宙科学関連教育講演が行われました。54年前(1958



年4月19日)に種子島で見られた金環日食、3年前(2009年7月22日)の南西諸島で見られた皆既日食の話など詳しく日食の仕組みについて講話をしてくださいました。また、この2年間で約700もの惑星が見つかり、今後も楽しみであるということでした。



生徒たちは今まで以上に宇宙に興味を持ったようです。また、2012年5月21日(月)には日本太平洋岸で金環日食が見られるそうです。

- * 金環日食とは、月の見かけの大きさが太陽より小さいため、太陽を隠しきれずにリング状になる日食のこと。